

平成30年度東広島市社会教育関係職員 〈第1回スキルアップ研修〉



成果につながる講座企画ワークショップ① 学習プログラムの評価について

【目標】

学習プログラム開発におけるPDCAサイクルのプロセスや評価（アウトプット評価，アウトカム評価）の意義及び手法等について理解する。

ぱれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

本日のメニュー

- オリエンテーション
 - ・ 本日の研修内容と目標の確認
 - ・ アイスブレイク
- 【講義】 学習プログラムの開発について（振り返り）
- 【講義・演習】 学習プログラムの評価について
 - ・ 学習プログラムをなぜ評価するのか？
 - ・ 評価すべき成果とは何か？
- 【説明】 東広島市の生涯学習・社会教育施策と
事業計画書等の改定案について
- 【演習】 “東広島版” 「事業計画書」の作成に挑戦！
- 振り返り

この研修で大切にしたいこと

- **自分を見つめ直し，振り返り**ましょう。
- **相手から聞き出す力**を育て合いましょう。
- **広い視野と当事者意識**を持ちましょう。
- 意見や考えの違いを乗り越え，他者と協働しながら，**課題解決**に取り組みましょう。
- **学んだことを仕事に生かす意識**を持って参加しましょう。

アイスブレイク！

学習プログラムの 開発について (振り返り)

学習プログラムとは・・・

講座・行事等の集合学習の機会において、
住民の学習を支援するための計画

【構成要素】

- ・ どのようなことを**目的**とし
- ・ どのような**目標**をもって
- ・ どのような**活動**を
- ・ どのような**順序**で行い
- ・ どのような**学習成果**を生み出すか
(学習者の意識や態度,行動の変容をもたらすか)

「目的」と「目標」の関係

健康づくり

目的

学習成果

目標

富士山に登る！

学習成果

目標

1時間山登りをしても、疲れない体力をつける。

学習成果

目標

週に1回、ウォーキングする。

学習成果

目標

学習成果

目標

近隣の登山に挑戦し、登山仲間をつくる。

学習成果

目標

ストレッチで、けがをしない柔軟な身体づくりを行う。

学習プログラム開発の流れ (PLAN)

シートA (準備シート)

テーマ

①個人の要望

②社会の要請

③地域課題の発見・分析

④学習目的の設定

⑤学習目標の設定

シートB (個別事業計画)

- ・プログラム名
- ・対象・定員
- ・参加費
- ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点
- ・学習プログラムの展開
- ・評価(振り返りの方法)

展開

回	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

シートC (各回の実施計画)

- ・準備物
- ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点

「個人の要望」と「社会の要請」

シートA

① 「個人の要望」

住民の学習ニーズ

- 教養
(英会話, 読書, 地域の歴史, 自然観察)
- 趣味
(茶道, 俳句, 将棋, 音楽, 美術, カメラ, パソコン)
- 健康・スポーツ・レクリエーション
(ハイキング, 自然体験, 親子キャンプ)
- 家庭教育・生活
(子育て, 介護, 料理, 読書, 生きがい) ...

【調べる方法】

- ・ 住民調査 (アンケート)
- ・ 日常的な住民との交流

② 「社会の要請」

行政の重点課題, 施策の方向, 地域の課題

- 地域的な課題
人口減少・高齢化, 地域活性 (まちづくり), 絆づくり, 家庭・地域の教育力向上, 防災, 防犯, 伝統文化継承, 生活環境の改善, 地域の担い手 (ボランティア) 育成...
- 現代的な課題
科学技術の高度化, 情報化, グローバル化, 人権, 環境問題, 消費者問題, 男女共同参画医療, 福祉, 子供の体験不足, 貧困...

【調べる方法】

- ・ 行政資料 (総合計画, 基本計画)
- ・ 広報資料 ・ 統計資料
- ・ 日常的な住民との交流

③ 地域課題の発見・分析

「個人の要望」と「社会の要請」【例】

シートA

① 「個人の要望」

住民の学習ニーズ

- ・ ママ友がほしい。
- ・ 安心して子供と出かけられる遊び場や居場所がほしい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

② 「社会の要請」

行政の重点課題, 施策の方向,
地域の課題

- ・ 核家族化等による
子育て世代の孤立化。
- ・ 家庭の教育力の向上。
- ・ 地域で子供を育てる
環境作り。

③ 地域課題の発見・分析

- ・ 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- ・ 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

④学習目的の設定

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を、どのような状態にするのか？

地域課題を

こうなってほしいという理想的な状態を考えてみる。

(学習目的の例文)

▲▲ (地域課題) を●●● (意図) ようにする。

※「●●●ようにする」の部分は、理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる。
- ・人材を育成する。
- ・地域の活性化を図る。
- ・道徳心を養う。
- ・ネットワークを形成する。
- ・仲間意識を育てる。

【例】

子育てをしている親の育児不安を解消するために、子育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

⑤ 学習目標の設定

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値観を養ってもらいたいと考えているか？

ア 知らないことを知るようになること（知識）

【例】 親同士の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることがわかる。

イ できないことができるようになること（技能）

【例】 子供と一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、今まで以上にお互いの気持ちを伝え合うことができるようになる。

ウ 意識を変えること（意識）

【例】 親同士・親と子育て支援者との交流を通して、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感することができる。

(例) 家庭教育支援をテーマとして・・・

① 個人の要望

- ・ ママ友がほしい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

② 社会の要請

- ・ 家庭の教育力の向上。
- ・ 地域で子供を育てる環境作り。

③ 地域課題の発見・分析

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

④ 学習目的の設定

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

⑤ 学習目標の設定

- ◎ 親同士・親と子育て支援者の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることを知り、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感する。
- ◎ 子供と一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、これまで以上にお互いの気持ちを伝え合えるようになる。

学習プログラムを開発しよう

1 学習目的の設定

どのように地域課題を解決し、どのような状態にしたいのかを文章化する。（シートAから転記）

2 学習目標の設定

学習課題を学習目標として文章化する。
(シートAから転記)

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②学習者の知識・技能の習得や意識・態度の変容が目標として示されているか。
- ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。

3 プログラム名

魅力的で夢があるもの、学習目標が伝わるもの
ユニークで、短く、人の心をキャッチするもの

4 対象・定員

目的や目標にあわせて絞り込む

5 参加費

施設使用料, 食費, 材料費, 保険料,
計〇〇〇円 (申込時払い) など,
内訳や集金日時をはっきりさせる。

6 事前に必要な知識や準備物

いざというときの医療機関の情報収集,
しおりやアンケートの作成, 必要物品の手配等

7 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標(◎) 学習内容	学習 支援者	学習 場所	評価 (振り返り の方法)
<p>第1回○月○日 10:00~16:00</p>	<p>チラシに掲載する各回のテーマを内容がわかるように、簡潔に書く。</p>	<p>◎参加者が…によって ○○になる。</p> <p>①【講義・演習】 …を知る。(○○分) …を聞く。(○○分)</p> <p>②【ワークショップ】</p> <p>③【参画】 …を話し合う。(○○分) …を計画する。(○○分)</p>	<p>講師, 指導者, ボランティア</p>	<p>○○公民館 ○○研修室 ○○キャン プ場等</p>	<p>アンケート インタビュー 行動観察 成果物の分析</p>

学習プログラムの 評価について



学習プログラムを なぜ評価するのか？



〔学習プログラム〕
講座，行事等の集合学習の機会におい
て，住民の学習を支援するための計画

学習プログラム開発におけるPDCAサイクル

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析
企画立案

(目的, 目標, 対象, 学習内容・方法, 時期,
会場, 回数等を定める)

DO

実施・運営

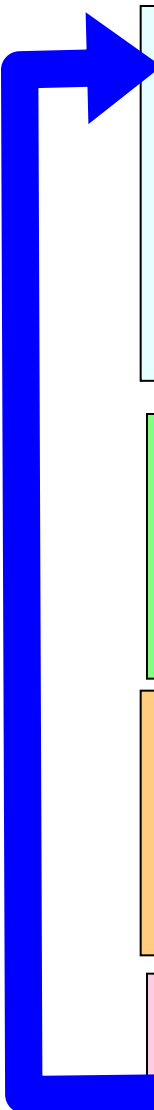
(会場・設備・資料等準備, 役割分担確認 等)

CHECK

学習プログラムの評価,
学習成果の評価 等

ACTION

学習プログラムの改善, 一般化



学習プログラム開発におけるPDCAサイクル

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析
企画立案

(目的, 目標, 対象, 学習内容・方法, 時期,
会場, 回数等を定める)

DO

実施・運営

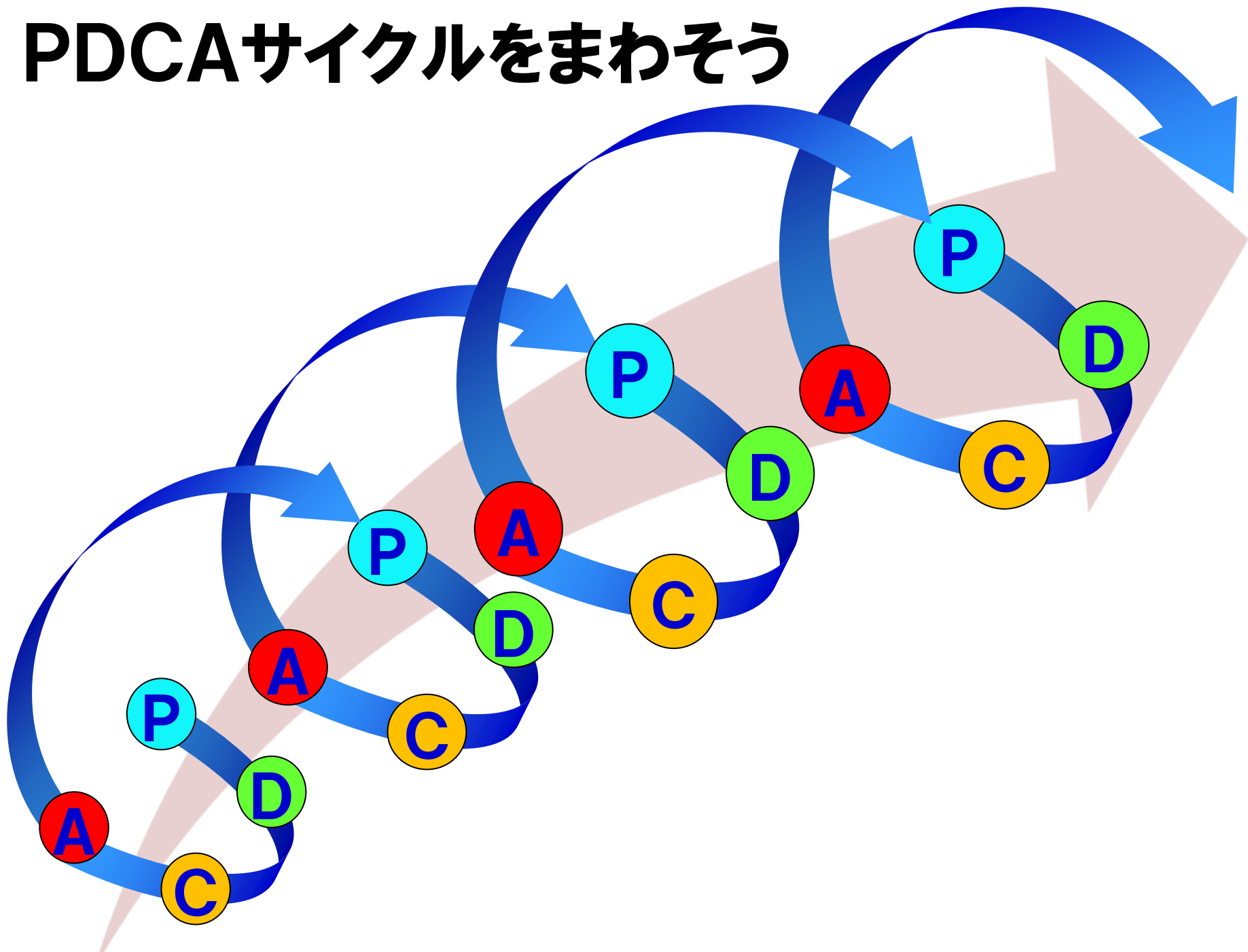
(会場・設備・資料等準備, 役割分担確認 等)

→ 前例踏襲

→ マンネリ化

→ 停滞 . . .

PDCAサイクルをまわそう



中長期期的な見通しをもった事業

共助の精神でつくる
防災に強いまちづくり

講習修了者による防災対策のための「ボランティアサークル」を結成しよう。

昨年の参加者が「支援者」として関わる「第2回防災講習会」を開こう。

5年後

3年後

1年後

年間計画

「防災講習会」
の開催

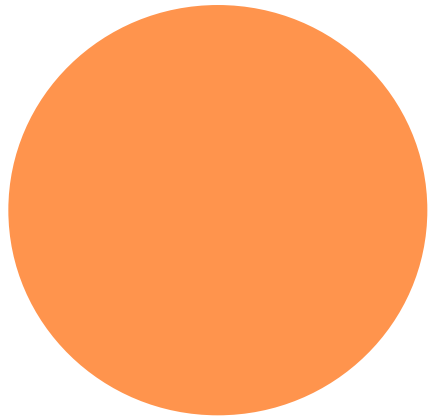
中期計画

「ボランティアサークル」や市の担当部局と連携・協力し、「災害時対応マニュアル」を作成しよう。

学習プログラムを評価する意義

- PDCAサイクルの最終ステップ（**事業の改善・充実**）
- 次年度計画の**説明根拠**となる資料
- **中長期的**な見通しのなかでの事業運営
（人材育成，地域づくり等の事業は短期では達成しづらい）
- **アカウントビリティ**の必要性
- **学習者自身が**，達成感・充実感を確認する
 - ・ 意識づける = **「振り返り」**の教育的な意義
⇒ 学習成果の活用・還元

学習成果を「見える化」し、
「次へつなげる」ための活動



**何を成果として
評価するのか？**



主に評価する項目

● 学習プログラム自体の評価

- ① 計画した活動の準備, 実施順序, 活動内容, 目標設定等は適切であったか
- ② 活動を実施したことによって起きた結果

● 学習者の学習成果の評価

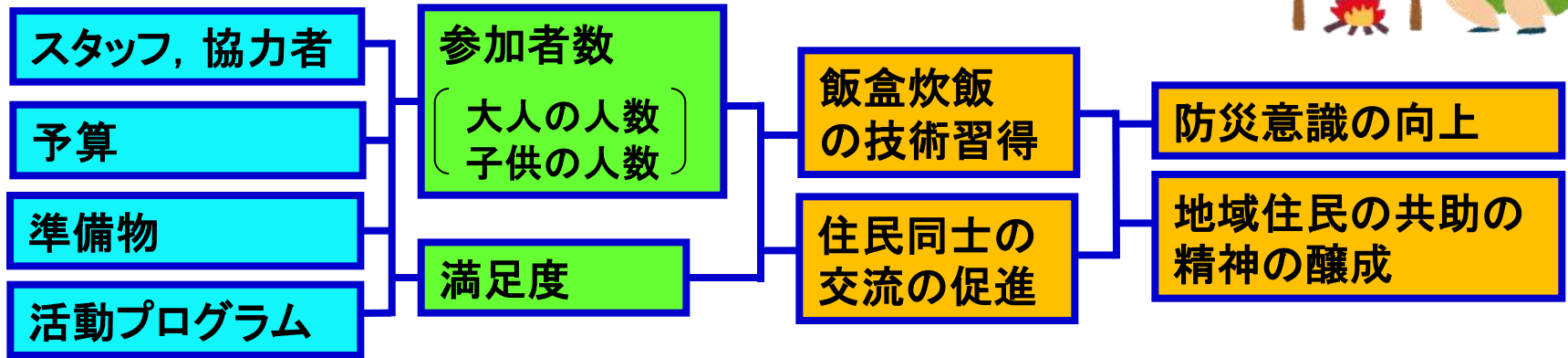
- ③ 学習プログラムの目標はどの程度到達できたか
- ④ プログラム立案者が想定していなかった成果, 新たな気づきや展開 (波及効果) はないか

学習プログラムの評価

学習成果の評価

みんなで学ぶ！防災デイキャンプ

災害等の非常時に備え、地域住民で飯盒炊飯をしよう！



P

① 計画

D

② 実施結果

C

③ 目標の到達度

C

④ 目的の達成に繋がる
中長期的な見通し
(波及効果)

アウトプット

アウトカム

アウトプット

事業の実施によって直接的に生じた結果

参加者・修了者数, 学習者の満足度,
学習成果物 (人材, 作品・発表資料etc.) など

アウトカム

事業の実施により発生した成果

(効果, 変化, 影響)

知識・技能の習得, 意識・行動の変化
アウトプットの成果物の応用・活用 (価値),
環境の醸成・ネットワーク形成など
→アウトカムの中には中・長期的な成果
につながるものが多い

評価の方法

- ① 「振り返りアンケート」の結果
- ② 学習参加の実態の情報収集
- ③ 感想文
- ④ 一部の受講者への聞き取り
- ⑤ 学習活動の観察から情報収集
- ⑥ 会場での発言，質問，拍手，挙手などの反応
- ⑦ 学習成果物（作品，発表資料）
- ⑧ 学習活動の記録

実施した結果をつかむ

把握すべき実態

○参加者数

○参加者の実態をより深く知るデータ

例) 性差・年齢・居住地域・学習経験など

○学習成果物

例) 作品・発表数

注意！ 学習歴や参加動機・きっかけなどは含まない。

(**学習評価** ≠ **学習ニーズ調査**)

学習目標の到達度をはかる

把握すべき実態

①知らないことを知ることができたか（知識・理解）

- 例）・理解できたかどうかその場で聞く
・チェックリストの活用など

②技能，実技を身に付けることができたか（技能・表現力）

- 例）・成果物，発表内容の活用
・活用の方法や場面を尋ねる

③意識が変わったか（関心・意欲・態度）

- 例）・意見交流や発表の内容を記録
・アンケートの自由記述の活用

聞きにくいが、
やっぱり
③が大事！

目的の達成に繋がる中長期的な見通し 波及効果を発見する

把握すべき実態

この事業の次の展開を考えるうえで、必要な情報とは？

- 学習目的の達成に繋がるような成果
例) 人的あるいは情報ネットワークの形成の有無
- 次の事業立案のヒントとなるような情報
- リピーター（継続的な学習参加者）となってもら
うためのニーズ調査

【演習】 学習プログラム自体を評価したり，学習者の学習成果を評価・確認するためには，どのような情報を収集する必要がありますか？なるべくたくさんあげてみましょう。

自分の意見，グループメンバーからの参考となる意見をメモしましょう！

実施結果

目標の到達度

目的の達成に繋がる中長期的な見通し（波及効果）

「振り返りアンケート」の作成

アンケートって奥が深い・・・

- 回収率の低さ
- コメントの難しさ（自由記述の少なさ）
- アンケートに対する学習者の理解力や記述力の差異が反映しやすい（答えにくさ）

- ★ 項目は、3～5個が限度
- ★ 記述式より選択式が答えやすい
- ★ 全ての年齢層に紙面によるアンケート方式は適用できない 例) 高齢者・子供

作成手順

A 4 用紙を縦に置き，折り目をつけてください。
(8 等分)

事業名

活動の目標

参加者に身に付けてもらいたい
知識，技術，意識 等

アンケート項目

(3 ~ 5 個)

東広島市の

生涯学習・社会教育施策と

事業計画書等の改定案について

“東広島版” 「事業企画書」の作成に挑戦！

新しい

「事業企画書・報告書」について

- ・ 作成してみましよう
- ・ 意見を交流しましよう



まとめ・振り返り

参考資料

- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
『社会教育計画策定ハンドブック 計画と評価の実際』 (平成23年)
- 原義彦「事業評価の技法」 『生涯学習研究e事典』
日本生涯教育学会
(<http://ejiten.javea.or.jp/> : 2018年6月14日参照)